



伝える・伝わる・伝え合う 一発達段階に応じた コミュニケーション力を身につける

今年度は、“生きる力”となるべき“コミュニケーション力”を身につけるために、家庭や地域の方と連携を取りながら、個々の発達段階に応じた取り組みをしてきました。

本年度の主な取り組みの成果

- 安心して思いを表現しようとする
 - ・誰かに伝えたいと思えるような体験をする中で、自分の気持ちを言葉で表現する姿が増えてきました
 - ・遊びの中で必要な言葉が使えるようになり、互いの気持ちが分かり、良さを認め合える仲間関係ができてきました
- いろいろな人と関わる
 - ・縦割り保育の“なかよし家族”で、憧れや感謝の気持ちを持ち、相手を気に掛ける思いやりの心が育ってきています
 - ・保育園児や小学生、中学生、地域の方との触れ合いを通して、いろいろな人に親しみの気持ちをもつことができてきました
- 家庭と連携しながら育ちを支える
 - ・個々の育ちを互いに共有しながら、今、身につけるべき力を見極め、よりよい育ちにつながるよう取り組んできました

今後も、家庭や地域の皆様との連携を大切にしながら、“生きる力”を育んでいきたいと思えます。



育てよう 豊かな心 元気な体 —すこやかでたくましく、 けじめある子どもをめざして—

今年度は、思いぎり体を動かしながら、心も体もすこやかに育つよう、また、社会性や意欲的に取り組む力をつけるために、家庭や地域の連携した生活の中で取り組みをしてきました。

本年度の主な取り組みの成果

- 生活を通して
 - ・様々な直接体験ができる場を大切に、友達や教師とかかわって生活する中で、心豊かに感じたり考えたり、時には葛藤など、様々な気持ちに気付いてきました
 - ・きまりの必要性に気付くようその場を捉え、伝えていくことで、してよいこと・よくないことなど、考えてできるようになってきています
- 地域・家庭と連携しながら育ちを支える
 - ・シニアクラブや絵本ボランティア、小学生、中学生など地域の様々な人と触れ合う中で、温かい気持ちをもつことができるようになってきています
 - ・親子で挨拶運動を実践することで、挨拶のできる子どもになってきています

今後も、家庭や地域の皆さまとの連携を大切に、すこやかでたくましく、けじめのある幼児の育成を目指し、努力してまいります。



平成27年度 播磨町の教育

播磨町立中学校、小学校、幼稚園の本年度の【教育スローガン】及び【成果と課題】をご報告します。広報はりま6月号でお伝えした【教育方針】とあわせてご覧ください。



▶問合せ 学校教育グループ
☎ 079 (435) 0545

【写真】播磨南小学校「自然学校でカヌー体験」、播磨幼稚園「おみせやさんごっこ」、播磨中学校「サイエンス・トライやる」、播磨西小学校「被災地への支援活動」、播磨小学校「3年生全員で引いた地引綱」



育てよう 豊かな心 深めよう ときめく遊び

今年度は、幼児が遊びや生活の中で様々な人とのつながりを深め、心がより豊かに育つように、また、いろいろな遊びが展開できるように環境構成を工夫したり、一人ひとりに応じた援助を考えたりして日々の保育に取り組んできました。

本年度の主な取り組みの成果

- いろいろな人とのつながりを深める
 - ・異年齢児や友達とかかわる中で、自分の気持ちを伝えながら、相手にもいろいろな考え方や思いがあることに気付く姿が見られるようになってきています
 - ・小学生、中学生、シニアクラブの方など、様々な人と親しみをもち遊ぶ姿が見られるようになってきています
- いろいろな遊びが展開できるように
 - ・環境を工夫し、幼児の様子を見ながら遊びを仕掛けていくことで「おもしろそうだな、やってみよう」という気持ちが育ってきています。また、目当てをもって遊びに取り組む姿も見られ、自信につながってきています
 - ・その時を逃さず、誘いかけたり教師の感動を伝えたりしていくことで、豊かに感じる心や不思議に思う気持ちなどが育ってきています

今後も、家庭・地域の皆様・小学校などとの連携を大切に、生活や遊びを通して“豊かな心”が育まれるよう努めていきたいと思えます。



夢かがやき

ともに学びをきりひろく
心豊かな西っ子の育成
真の「生きる力」をめざして

本年度の主な取り組みの成果

- 1 基礎・基本を大切にされた確かな学力 (知)**
音読・読書・読み聞かせ・計算を継続的に行い、言語活動や計算力など基礎学力の定着に努めました。
また算数では、同室複数指導や少人数指導によりきめの細かい指導に努め、学力向上をめざしました。
- 2 命を大切に、友達や仲間を思いやる豊かな心 (徳)**
道徳の授業を道徳教育の要として、研究を進めています。
6月のオープンスクールでは全学級で道徳授業を公開しました。
1月には陸前高田応援委員会が中心となって防災集会を開き、午後は引き渡し訓練を行いました。
また、毎月11日の「人権を確かめ合う日」では、仲間はずれやいじめについて学級指導を行いました。
- 3 困難にくじけないたくましい健康な体 (体)**
なわとびや持久走などで自分の記録に挑戦し、たくましい健康な体づくりをめざしました。
安全な学校生活のために、保健委員会と体育委員会が視聴覚教材「西小ヒーロー アンとゼン」を製作し、全校集会で披露しました。そして昨年度に続き東・北播磨地区視聴覚教材コンクールで最優秀賞に選ばれました。

播磨南小学校

校長 森 敏雄



「夢」と「希望」を持ち、
社会的自立を目指して学び合う
南っ子の育成

子どもの社会的自立を支える「ことばの力」の育成「楽しい！を入口に ひろがる・つながる ことばの世界」を研究主題に、2年間の文部科学省指定研究（教育課程 国語）に取り組んでいます。

本年度の主な取り組みの成果

- ・プロジェクト型単元の学習では、研究で得られた知見を「使える共有財産」にし、子どもの思考力・判断力の具体化や一般化への関与などについて授業改善を図っています。単元デザインや評価についても着実に研究が進みました
- ・図書館を使った調べる学習コンクールでは、今年も多く賞をいただきました。児童が確実に「思考・判断・表現の力と、ことばの力」を身につけてきていると感じます

課題として

「ことばの力」を育成するため、国語科での学びを活用する場づくりや、明確な評価規準の作成など、まだまだ追及していかなければなりません。

おわりに

P T A活動での資源ゴミ回収、図書・ミシンボランティア、登下校の見守り他、たくさんのご支援をいただき、ありがとうございました。子どもの社会的自立を促す取り組みを進めていけるよう、今後とも温かなご支援をお願いいたします。



知・徳・体の調和のとれた児童の育成

本校では、上記の教育目標を掲げ、確かな学力・豊かな心・健やかな体力の基盤づくりに尽力しています。特に今年度は、学級担任の年齢が昨年度より8歳も若返り、学級経営の核となる「分かる授業」が重点課題となりました。

本年度の主な取り組みの成果

- 授業では、ユニバーサルデザインの視点を取り入れ、黒板周辺にほとんど掲示物を無くすと共に、視覚に訴える資料を増やしました。そして、全校で板書とノート整理の基本形を統一した「播磨小スタンダード」を構築しました。児童は、全学年共に落ち着いて授業に臨み、集中して学習に取り組めるようになってきました。
- 若い教師が多いですが、経験豊富な教師とのチームで協力体制を確立し、授業研究をはじめ様々な研修を積み重ねています。また、P T A活動や地域活動にも全教職員が関わることができました。
- 来年度も「チーム播磨小」として日々研鑽に励み、児童一人ひとりを大切に、共に学び共に育っていきけるよう尽力していきます。

保護者並びに地域の皆さま方には、登下校の安全から学校環境や学力向上までボランティアとしてご尽力いただき、誠にありがとうございました。来年度も、本校の教育にご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

蓮池小学校

校長 木下 康雄



「未来を拓く子どもたちの
豊かな人間力の育成」をめざして

将来、子どもたちが、自立した人間としてたくましく生き抜いていけるよう、学校の組織力を結集して教育の創造に取り組んできました。

本年度の主な取り組みの成果

- ①言語活動を通し、さらなる理数教育の充実**
教員の授業力向上を目指し、講師を招聘した校内研修を充実させるとともに、先進校視察や全教員の授業公開などを実施しました。
- ②学級経営と学校行事の充実**
日頃の元気なあいさつや思いやりなど、いじめのない学級を母体に、積極的な児童主体の委員会活動が生まれました。感動的な運動会や音楽会、R U Nラン記録会、子ども作品展など行事を通して子どもは大きく成長しました。
- ③学校・家庭・地域の連携の充実**
児童の生き生きとした学校生活を保護者や地域の方に見ていただく機会やH Pの更新、学校・学年便りの工夫、充実を図りました。また、登下校の見守り・学校の環境整備・ゲストティーチャー・本の読み聞かせ・灯足るの会・なでしこの会などで多くの方々の協力を得ることができました。

学校・家庭・地域が、子どもたちの夢の実現をめざし、子どもたちを温かく育てていきたいと思っております。今後とも皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



東はりまフェスタ

東はりま特別支援学校 中学部

12月12日の東はりまフェスタでのステージ発表で中学部は、それぞれの学年が持ち味を出した演技を披露しました。

1年生は、ラテンの音楽とハワイアン曲にあわせて大勢の前での発表を行いました。みんなでリズムを合わせることで、ソロ、アナウンスなど、それぞれが一生懸命でした。

2年生は、和太鼓の力強い演奏から息の合ったダンスまでスピーディな発表でした。後で感想を聞くと、「たのしかった〜」という意見が大半でした。

3年生は、合唱から始まって器楽演奏、ダンスと息の合った演技ができました。全員が練習してきた成果をカッコよく発表することができました。

練習を重ねる中で得た自信が本番の演技につながったと思います。その努力の成果を大勢の方々の前で発表し、温かい拍手をいただくことができました。

努力した演技が認められたということが次へ踏み出す力になると思います。保護者の方々や地域の皆さまにまた一つ成長した姿を見ていただくことができたのではないのでしょうか。



第31期生徒会活動を終えるにあたり

播磨南高等学校 生徒会

この1年間、生徒会活動を通して生徒会役員の人ひとりが成長できたと思います。生徒会では、潮風祭(文化祭)、体育祭、球技大会などの学校行事の他、クリーンキャンペーン、あしなが募金、ふれあいフェスタ、国際交流 in Harima、大中遺跡まつりなどのボランティアに携わってきました。数多くの行事の中で一番印象に残っている行事は、潮風祭です。なぜなら、生徒会に入って一番最初の大きな行事で、とても忙しかったからです。自分が思っていたよりも、やる事が多く、思うように進まないことがありました。そのため、時間通りにいかないことが多くありました。潮風祭の準備をするなかで、みんなと協力することの大切さを学びました。潮風祭が終わったあとは上手くいったことのうれしさや達成感がとても大きかったです。

数々の学校行事やボランティアを通して様々なことを学んできました。これまで学んできたことを、今後に活かしていきたいと思っています。このメンバーで生徒会活動が出来て良かったです。あともう少しで、生徒会役員としての役割も終わりになりますが、最後までしっかり取り組みたいと思います。

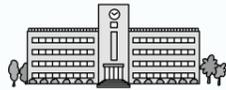


ゆとりある学校生活のためご協力をお願いします

▶問合せ 学校教育グループ ☎079(435)0545

児童・生徒のゆとりある生活の確保、心身のリフレッシュやスポーツ障害などの防止、教職員が児童生徒と向き合う時間の確保のため、県教育委員会では新対策プランを策定し、「ノー部活デー」や「教職員定時退勤日」を実施しています。保護者や地域の皆様のご理解、ご協力をお願いします。

- ノー部活デー 平日週1日、休日2回以上
 - 教職員定時退勤日 週1回以上
- ※実施日は各学校で設定します。



家庭教育コラム ②

かがやく未来のために 一歩踏み出そう

「学ば力」「学ば姿勢」を身につけるために

【家庭学習は、とても重要】
【小学3・4年生②】

●めざせ！自ら進んで、学習に向かう習慣を身につけよう！

●保護者の皆様へ(その2)

○自分から、机に向かう環境づくりが大切です。

また、集中して学習に取り組む習慣をつけさせることも重要です。

テレビやゲームなど、家族も我慢する時間を作りましょう。

●3・4年生の学習は...

○社会や理科、総合的な学習が始まり、学習する内容も広がります。

○自学自習の基礎となる、国語辞典や漢字辞典、地図帳などの使い方を学びます。

播磨中学校

校長 高見 嘉彦



明朗・自治・創造
「当たり前のことを馬鹿にせず、ちゃんとやる人こそできる人」
「凡事徹底」を掲げて！

本年度の主な取り組みの成果

○わかる授業づくり

授業の基礎・基本を徹底し、ユニバーサルデザインを取り入れた授業改善に努めているところです。特に数学科は、「言語活動の充実」をテーマにした研究の成果を近畿大会で発表しました。

○道徳教育の充実

道徳の教科化を見据え、授業研究に加え研修を強化し、道徳授業の改善に努めました。特に、兵庫教育大学から講師を招聘し、師範授業の参観や題材の解釈・授業の作り方などを学び、授業力の向上を目指しました。また、オープンスクールにおいては、家庭・地域に向け、積極的に授業公開することができました。

○生徒会活動・学級活動の充実

年間目標を「笑顔の絶えない気持ちの良い毎日」に定め、スローガン「笑顔満開」を校舎に掲げました。そして、より良い播中のため、先輩からのバトンを受け継ぎがんばってくれました。また、今年度は、給食の牛乳パック回収を始めることもでき、回収量も増えました。

今年度も、PTA、地域の皆さまのご理解とご協力、そして応援により、何とか無事に終えることができました。ありがとうございました。

播磨中学校ホームページ

<http://www.harimaj.ed.jp/>

播磨南中学校

校長 赤松 幸子

播磨南中学校ホームページ

<http://www.harinanj.ed.jp/>

はばたけ南っ子

『あ(あいさつをしよう)
ひ(ひとの話を聞こう)
る(ルールを守ろう)』の推進

常に、「あ・ひ・る」を念頭に置いての指導を心がけました。

『あ』：生徒会やPTAの啓発活動などにより、自らあいさつをする習慣ができています

『ひ』：集団として、落ち着いて人の話を聞けるようになりました

『る』：生徒会のスローガン「あなたの行動で学校は変わる」の下、スマホ・携帯に関するルールづくりなど、意識改革が進んでいます

「地域の中の学校」を意識し、今後とも生徒・保護者・教職員が一丸となって、南中文化の更なる極みを目指します。



本年度の主な取り組みの成果

○授業の充実

学校全体で「授業で勝負」を意識して取り組んだ結果、前向きに学習に取り組む生徒が増えました。課題としては、復習や予習など、家庭学習の定着を図っていく必要があります。

○個が生きる学級づくり

集団で生活する中で様々な体験を通して、生徒はたくさんのことを学びました。人それぞれの個性を認め、尊重し合えるような学級・学年・学校づくりを継続していきます。

今後とも地域の皆さまのご協力・ご支援をよろしくお願いいたします。